

平成30年4月19日

立憲民主党 福山哲郎 殿
民進党 増子輝彦 殿
希望の党 古川元久 殿
日本共産党 小池 晃 殿
自由党 玉城 徳一 殿
社会民主党 吉川 元 殿

今般の一連にわたる行政府の問題は、国民の行政への信頼を損なう大変遺憾な事態であり、早急に全容解明と再発防止に向けた対策をとらねばならない。また、国際情勢がかつてないほどのスピードで激動するなか、国民生活に直結する重要法案も国会に提出されており、国民の負託に応え、歴史の評価に耐えうる真摯な議論を戦わせなければならない。

以下、野党の要求に対して回答する。

1. 麻生財務大臣については、引き続き全容解明の責任者としての職務を忠実に果たすべきと考えているが、要求があったことは政府に伝える。
2. 23日に予算委員会の集中審議を行うことや参考人を招致することを筆頭理事間で提案しているので、その審議を通じて判断したい。
3. 財務省の調査については、現在、鋭意進んでいると認識しているが、さらに努力するよう伝えたい。
4. 自衛隊の日報問題については、第三者を新たに加えた調査が進んでいるところであり、さらに努力するよう伝えたい。自衛官の問題については、速やかに調査して厳正に対処するよう政府に伝えたところである。

自由民主党 二階 俊博
公明党 井上 義久